

令和4年度 京都市民健康づくり推進会議 口腔保健部会 次第

日 時：令和5年1月26日（木）
午後1時30分～午後3時
場 所：オンライン(ZOOM)及び
ハートンホテル京都 1階「伏見」

【司会】 健康長寿企画課 担当課長 絹村 円

1 開会 健康長寿のまち・京都推進室長 阪本 一郎

2 議 事 【議事進行】 部会長 天野 敦雄 氏

- (1) 京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」の取組について
- (2) 国の歯科口腔保健の推進に関する次期基本的事項について
- (3) 令和5年度「健康づくり・口腔・食育に関するアンケート」（仮）等について
- (4) 健康づくりに関係する次期計画に向けた意見交換について

3 閉会 健康長寿のまち・京都推進室 保健担当部長 安藤 えつ子

配布資料

- | | |
|-----|-------------------------------------|
| 資料1 | 構成団体及び出席者名簿 |
| 資料2 | 座席表 |
| 資料3 | 京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」について |
| 資料4 | 令和5年度「健康づくり・口腔・食育に関するアンケート」（仮）案について |
| 資料5 | 健康づくりアンケートに関する新旧対照表（口腔関連抜粋） |

参考資料

「京都市民健康づくり推進会議」開催要綱

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000191477.html>



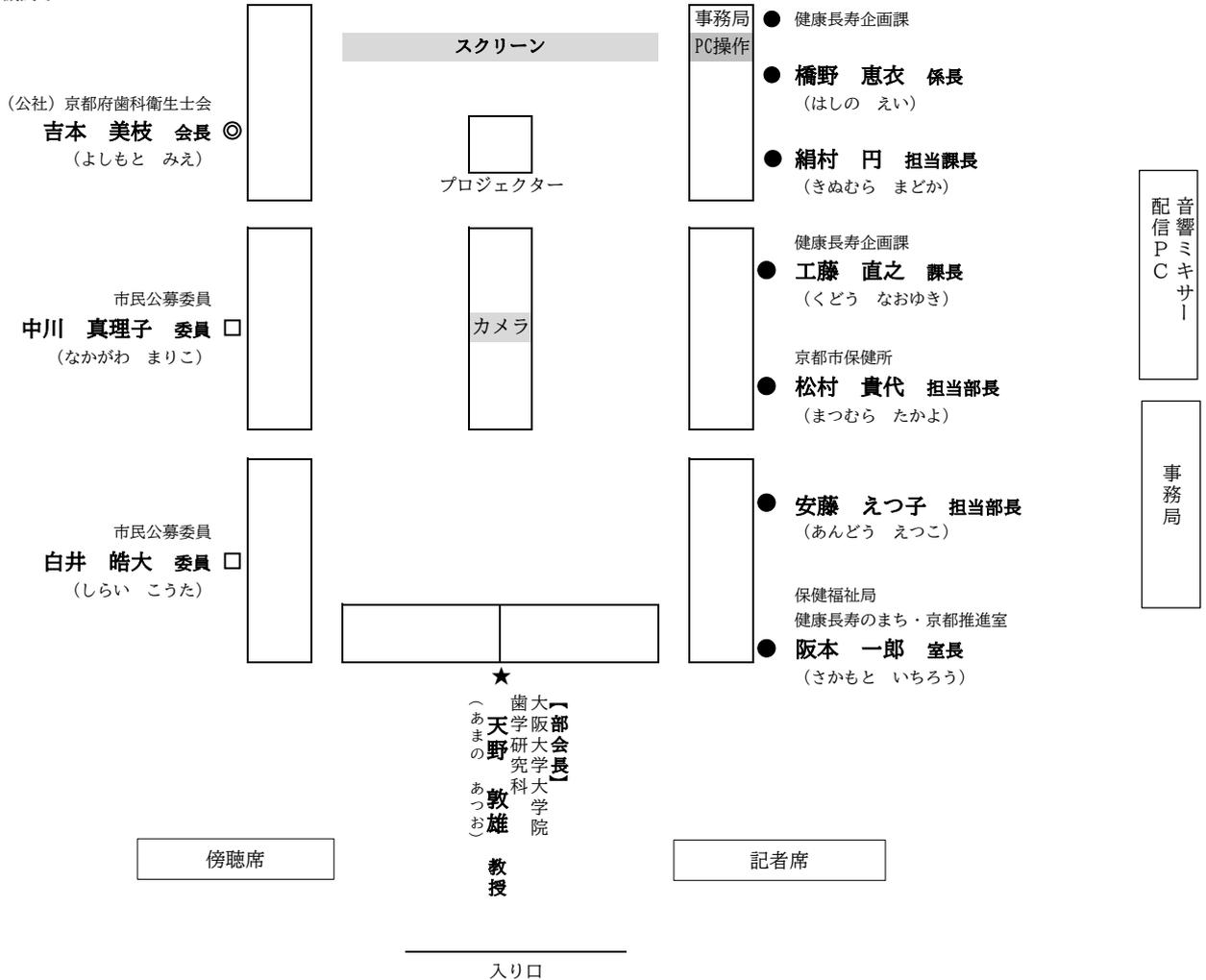
令和4年度京都市民健康づくり推進会議 口腔保健部会 構成団体・出席者名簿

	機関・団体等	役職	氏名 (敬称略)	出席 方法
学識経験者 (部会長)	大阪大学大学院歯学研究科	教授	あまの 天野 かつお あつお 敦雄	会場
個人	市民公募委員	—	しらい 白井 こうた こうた 皓大	会場
	市民公募委員	—	なかがわ 中川 まりこ まりこ 真理子	会場
地域	京都市PTA連絡協議会	副会長	はしもと 橋本 りえ りえ 理恵	オンライン
	(一社)京都市老人クラブ連合会(すこやかクラブ京都)	常務理事・事務局長	たなか 田中 ひとし ひとし 均	オンライン
保育・教育 機関等	(公社)京都市保育園連盟	常務理事	むらい 村井 ひろあき ひろあき 祐昭	欠席
	(公社)京都市私立幼稚園協会	副会長	よねかわ 米川 かずこ かずこ 和子	欠席
	京都市小学校長会	副会長	おかもと 岡本 まさふみ まさふみ 雅文	オンライン
	京都市立中学校長会	健康教育部会代表	こぐち 古口 けんいち けんいち 賢一	欠席
	京都府私立中学高等学校連合会	中高連事務局長	むろ 室 やすじ やすじ 保次	オンライン
保健医療 機関等	(一社)京都府医師会	理事	おやいづ 小柳津 はるき はるき 治樹	欠席
	(一社)京都府歯科医師会	理事	きしもと 岸本 とむひろ とむひろ 知弘	オンライン
	(一社)京都府薬剤師会	専務理事	すなかわ 砂川 まさゆき まさゆき 雅之	オンライン
	(公社)京都府看護協会	専務理事	ちば 千葉 けいこ けいこ 圭子	オンライン
	(公社)京都府栄養士会	副会長	いしばし 石伏 みのる みのる 穰	オンライン
	(公社)京都府歯科衛生士会	会長	よしもと 吉本 みえ みえ 美枝	会場
	(一社)京都府歯科技工士会	会長	たかはし 高橋 よしか よしか 祥高	オンライン
京都市	保健所	担当部長 (公衆衛生医師)	まつむら 松村 たかよ たかよ 貴代	会場
	教育委員会事務局 体育健康教育室	保健安全課長	おの 小野 ゆうこ ゆうこ 優子	オンライン
	保健福祉局 生活福祉部 保険年金課	特定健診係長	どうにわ 洞庭 みょうこ みょうこ 妙子	オンライン
	保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 介護ケア推進課	介護ケア推進課長	えんどう 遠藤 よういち よういち 洋一	オンライン
	子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 子ども家庭支援課	子育て世代包括支援 担当課長	てらやま 寺山 きょうみ きょうみ 京美	欠席
	子ども若者はぐくみ局 幼保総合支援室	担当係長	みやもと 宮本 めぐみ めぐみ 恵美	欠席
	(オブザーバー) 保健福祉局 障害保健福祉推進室	施設福祉課長	きたがき 北垣 まさはる まさはる 政治	欠席
事務局 (京都市)	保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室	室長	さかもと 阪本 いちろう いちろう 一郎	会場
		保健担当部長	あんどう 安藤 えつ子 えつ子	会場
	保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課	課長	くどう 工藤 なおゆき なおゆき 直之	会場
		健康長寿推進担当課長	きぬむら 絹村 まどか まどか 円	会場
		口腔保健普及推進医員 (非常勤歯科医師)	おおかわ 大河 たかひさ たかひさ 貴久	オンライン
		健康長寿推進第三係長	はしの 橋野 えい えい 恵衣	会場

団体数(学識経験者・個人・オブザーバーを除く)20団体

座席表

- ★ 学識経験者
- 市民公募委員
- 地域
- ◇ 保育・教育機関等
- ◎ 保健医療機関等
- 京都市



オンライン出席

◇ 京都市PTA連絡協議会	橋本 理恵 (はしもと りえ) 副会長
◇ (一社)京都市老人クラブ連合会 (すこやかクラブ京都)	田中 均 (たなか ひとし) 常務理事
◇ 京都市小学校長会	岡本 雅文 (おかもと まさふみ) 副会長
◇ 京都府私立中学高等学校連合会	室 保次 (むろ やすじ) 事務局長
◎ (一社)京都府歯科医師会	岸本 知弘 (きしもと ともひろ) 理事
◎ (一社)京都府薬剤師会	砂川 雅之 (すなかわ まさゆき) 専務理事
◎ (公社)京都府看護協会	千葉 圭子 (ちば けいこ) 専務理事
◎ (公社)京都府栄養士会	石伏 穰 (いしぶし みのる) 副会長
◎ (一社)京都府歯科技工士会	高橋 祥高 (たかはし よしたか) 会長
● 京都市教育委員会事務局体育健康教育室	小野 優子 (おの ゆうこ) 課長
● 京都市保健福祉局保険年金課	洞庭 妙子 (どうにわ みょうこ) 係長
● 京都市保健福祉局介護ケア推進課	遠藤 洋一 (えんどう よういち) 課長
● 京都市保健福祉局健康長寿企画課	大河 貴久 (おおかわ たかひさ) 口腔保健普及推進医員

京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」について

京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」掲載URL

●本冊子



<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000000367.html>



●概要版



<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000000369.html>



1

○ 健康づくりに関係する3つの計画

- 【計画期間：平成30年度～令和5年度】
- ① 健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン
 - ② 京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」
- 【計画期間：平成28年度～令和5年度】
- ③ 健康長寿のまち・京都食育推進プラン

<国と京都市の計画一覧（健康づくり関連）>

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
国	健康日本21（国民健康づくり運動プラン）	第2次								1年延長	次期国民健康づくり運動プラン		
	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項								1年延長	次期基本的事項		
	食育推進基本計画	第3次						第4次			第5次		
京都市	健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン	【第2次】	健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン【第3次】						1年延長	【第4次】			
	京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」	京都市口腔保健推進行動指針（歯ッピー・スマイル京都）	京都市口腔保健推進実施計画（歯ッピー・スマイル京都）						1年延長	【次期】			
	健康長寿のまち・京都食育推進プラン	健康長寿のまち・京都食育推進プラン【第3次】					2年延長		1年延長	【第4次】			

○ 次期計画策定に向けた検討の流れ

健康づくりに関係する3つの計画については、それぞれ策定から一定期間経過し、令和5年度末を以て、計画期間満了を迎えることから、健康づくり推進会議において、以下の手順に沿って現行計画の振り返りを行うとともに、次期計画の検討を行う。

<健康づくり推進会議（全体）>

- （令和4年7月開催）健康づくりに関係する3つの計画を一体的に策定することを共有した。
- （令和5年3月以降）国の現行計画の評価及び次期計画の内容を確認する。
- （令和5年3月以降）本市の現行計画に基づくこれまでの取組及び数値目標の達成状況を確認し、評価を行う。
- （令和5年3月以降）本市の次期計画の検討を開始する。

<本日の口腔保健部会> ※口腔保健部分の深掘り

- 本市口腔保健推進実施計画に基づく状況を確認し、暫定評価を行う。
- 歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の評価及び次期基本的事項の内容を確認する。
- 令和5年度「健康づくり・口腔・食育に関するアンケート」（仮）等の検討を行う。
- 本市の次期計画（口腔保健部分）の検討に向けた意見交換等を行う。

3

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(1) 現行計画の概略

ア 基本理念

市民一人ひとりが歯と口の健康づくりに取り組み、生涯にわたって、しっかり噛んで食べ、健やかで心豊かに笑顔で過ごせる「健康長寿のまち・京都」を推進する。

イ 位置づけ

- ・ 健康増進法に規定する市町村健康増進計画である「健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン」の歯と口の健康の取組を一層推進するための計画
- ・ 歯科口腔保健の推進に関する法律に規定する地域の実情に応じた施策を推進するための推進計画

ウ 計画期間

平成30年度～令和5年度（6年間）

エ 取組方針

ライフステージや配慮の必要な方の特性に応じた取組を、市民が自ら実践するとともに、関係機関・団体等と本市が一体となって支援することで、歯と口の健康増進から全身の健康増進、そして健康寿命の延伸を目指す。

歯と口の健康増進が健康寿命の延伸につながる概念イメージ

オ 基本的な取組等

ライフステージ等に応じた「歯と口の健康づくりの基本的な取組」の推進

- ① 口腔機能の育成・低下予防
- ② むし歯予防と歯周病予防
- ③ かかりつけ歯科での定期的な歯科健診

期待できる効果

主に全身面

誤嚥性肺炎の予防
 糖尿病などの全身疾患のリスクの低減
 フレイル予防
 (全身の虚弱の予防)
 低栄養の防止
 サルコペニア 予防
 (筋肉量の減少の予防)

主に口腔面

口腔内の清潔度の維持
 むし歯や歯周病の予防
 歯の喪失防止
 (8020 ,6024 の達成)
 オーラルフレイル予防
 (口腔機能の虚弱の予防)
 口腔機能の低下予防

生活・社会面

生活の質の維持
 (食べる楽しみ, 笑う等)
 活動や交流の維持
 (いっしょに食事をする,
 楽しく会話する等)
 意欲の保持・心の充足
 (意欲, 満足感, 幸福感等)

歯と口の健康づくりは、歯と口の健康だけでなく、
 全身の健康や生活の楽しみや活動の拡がり等につながります。

健康寿命の延伸

カ 推進イメージ

ライフステージ等に応じた歯と口の健康づくりの基本的な取組の推進イメージ

ライフステージ	年齢の目安	① 口腔機能の育成・低下予防	② むし歯予防と歯周病予防	③ かかりつけ歯科での定期的な歯科健診
胎児期 (妊娠期)	—	胎児の歯の形成	妊婦のむし歯予防	妊婦の歯肉炎予防
乳幼児期	0～就学前	育 成	むし歯になりやすい部分が多くなる	歯肉炎予防 歯周炎予防 歯周炎の重症化予防
少年期	小学生 中学生			
青年期	10歳代(後半) 20歳代(前半)			
壮年期	20歳代(後半) 30歳代	オーラルフレイル予防 低栄養の防止 フレイル予防	むし歯予防	
中年期	40歳代 50歳代			
高齢期	60歳代(前半) 60歳代(後半) 70歳代 80歳以上			
障害児・者 要介護高齢者 等	—	口腔ケアの推進, 誤嚥性肺炎予防 食べる・飲み込む機能の維持・向上 歯科健診受診の推進 歯科診療体制の確保		

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(2) これまでの主な取組（計画策定後～）

○ 個人・家庭での歯と口の健康づくり

平成30年度～	○ リーフレット「京都市お口の体操」の作成 → 口腔機能やオーラルフレイル等の普及啓発
令和元年度～	○ リーフレット「歯ッピー・スマイルfor KIDS」の作成 → 口腔機能の育成に関する普及啓発
令和3年度～	○ リーフレット「京都市お口の機能チェック票」の作成 → オーラルフレイル予防等の普及啓発 ○ 若年者への歯科受診勧奨 → 市内大学・短期大学、専門学校へのポスター配布のほか、「大学のまち京都・学生のまち京都」公式アプリ「KYO-DENT」の活用による周知 ○ コロナ禍の歯と口の健康に関する啓発（市民しんぶん） ○ 通いの場でのオーラルフレイル対策研修会の開催 → 歯科衛生士等による支援事例の共有等を通じて、「通いの場」におけるオーラルフレイル対策の普及啓発や歯科衛生士の関与についての理解を深め、具体的な支援内容やノウハウ等を共有

7

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(2) これまでの主な取組（計画策定後～）

○ 関係機関・団体（本市含む）による環境づくりの取組

平成30年度～	○ 後期高齢者歯科健康診査「75歳お口の健診」の開始 → 75歳の市民を対象に、指定医療機関で実施。口腔機能評価を含む歯科健診及び歯科保健指導、オーラルフレイル対策や介護予防に関する情報を提供
令和元年度～	○ 京都市糖尿病重症化予防地域戦略会議への歯科専門職団体の参画 ○ 京都市国民健康保険特定保健指導実務者への研修 → 研修テーマ「特定保健指導のための歯科知識」 ○ 口腔がん啓発のための口腔粘膜検診の実施 → 口腔がんの適切な知識等の普及
令和2年度	○ 歯科からの糖尿病重症化予防対策の開始 → 京都市国保の特定健診受診者のうち、糖尿病又は糖尿病が疑われる方から対象年齢等で抽出した方を対象に、歯周疾患予防健診の無料クーポン券を配布 ○ オーラルフレイル・フレイル対策推進事業の開始 → 京都市「お口の機能チェック票」の作成 → 地域の歯科専門職及び地域介護予防推進センター職員（介護予防事業関係者）への口腔機能向上やオーラルフレイル対策に関する研修会の開催
令和3年度～	○ 障害者歯科診療提供体制の確保に向けた検討 → 障害者歯科診療の提供に係る検討会の開催 → 市内歯科医療機関への障害者歯科診療の提供に係るアンケートの実施 ○ 災害時歯科保健医療活動研修事業の開始 → 災害発生時の歯科医療救護活動が十分に機能するよう研修会を実施

8

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

ア 全体の状況

[A]目標達成	・・・	4	(21.1%)	} 19項目
[B]改善傾向	・・・	3	(15.8%)	
[C]変化なし	・・・	4	(21.1%)	
[D]悪化	・・・	4	(21.1%)	
[-]評価困難	・・・	4	(21.1%)	

評価項目判定区分

- A：目標値を達成している
- B：目標値に達成していないが、策定当初より改善（変化率＞5%）がみられる
- C：策定時からおおむね変化なし（変化率±5%以内）
- D：策定時より悪化（変化率＞5%）している
- ：評価困難

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

イ ライフステージ等での状況

① 胎児期（妊娠期）、乳幼児期

区分	項目	ベース値	最新値	目標	評価
胎児期（妊娠期）	妊娠中に歯間清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合	(ア) H28 51.9%	(ア) R3 58.4%	60%以上	B
乳幼児期	3歳でむし歯のある市民の割合	(イ) H28 14.1%	(イ) R3 14.1%	10%以下	C
	3歳でフッ化物歯面塗布を受けたことのある市民の割合	(ウ) H28 46.8%	(ウ) R3 51.2%	55%以上	B
	3歳で不正咬合等がみとめられる（咬み合わせや歯並び等で経過観察が必要と判断された）市民の割合	(イ) H28 14.6%	(イ) R3 14.0%	10%以下	C

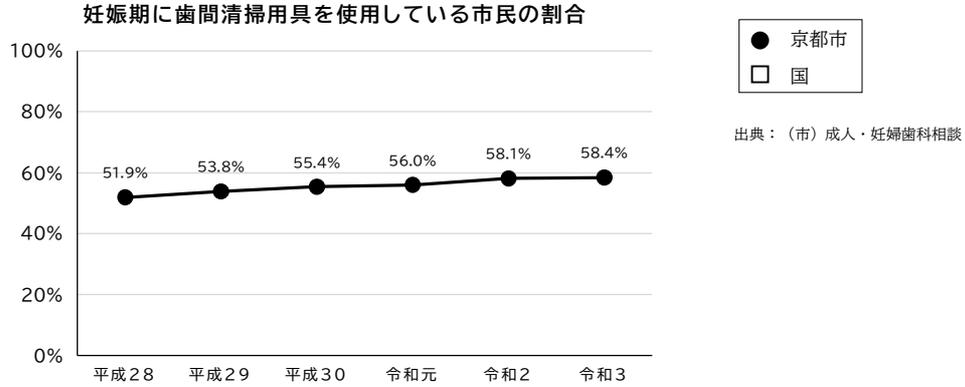
出典：
 (ア)京都市成人・妊婦歯科相談
 (イ)京都市3歳児健康診査
 (ウ)京都市フッ化物歯面塗布受診票利用状況
 評価項目判定区分：
 [A]目標達成、[B]改善傾向、[C]変化なし、[D]悪化、[-]評価困難

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

○ 妊娠中に歯間清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合

歯科保健行動



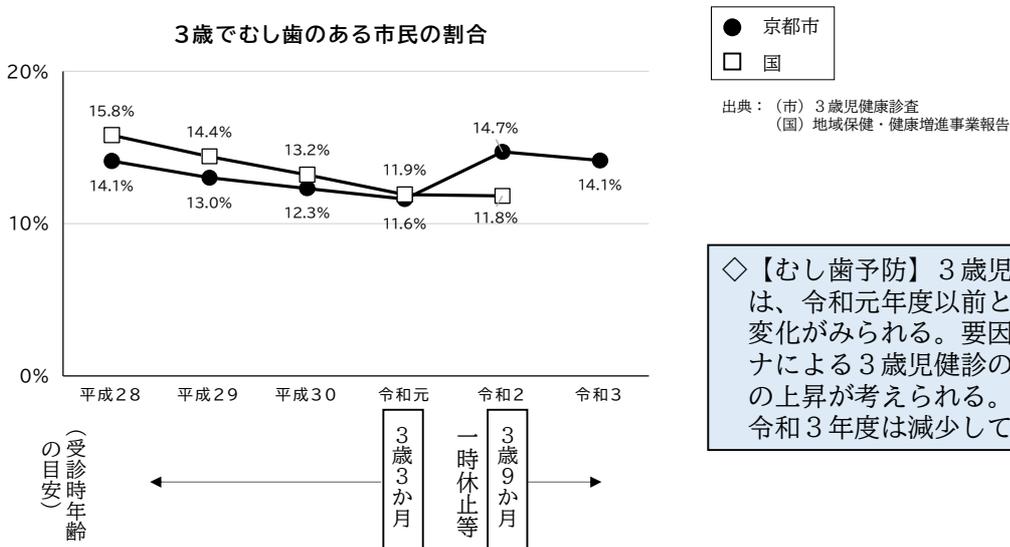
◇【保健行動】妊娠中の歯間清掃用具の使用といった歯科保健行動の普及状況は、目標に達していないものの増加傾向がみとめられた。

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

○ 3歳でむし歯のある市民の割合

むし歯予防

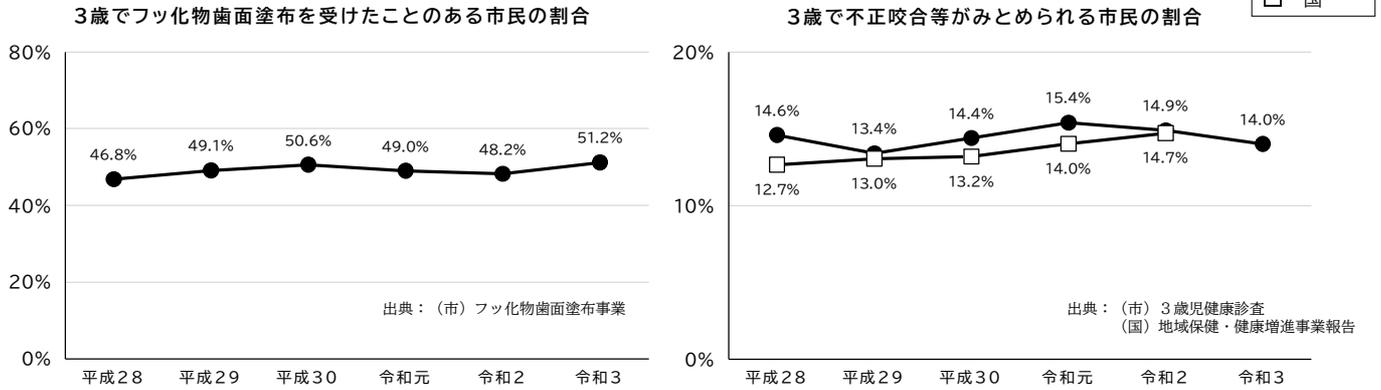


◇【むし歯予防】3歳児のむし歯罹患率については、令和元年度以前と令和2年度以降で傾向に変化がみられる。要因の一つとして、新型コロナウイルスによる3歳児健診の休止等による受診時年齢の上昇が考えられる。令和2年度と比較すると令和3年度は減少している。

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

- 3歳でフッ化物歯面塗布を受けたことのある市民の割合 歯科保健行動
- 3歳で不正咬合等がみとめられる（咬み合わせや歯並び等で経過観察が必要と判断された）市民の割合 口腔機能



- ◇【保健行動】幼児期のむし歯予防の歯科保健行動であるフッ化物歯面塗布の普及状況は、目標に達していないものの増加傾向がみとめられる。
- ◇【口腔機能】3歳児の噛み合わせ等の状況については、年度により変動しているが、大きな変化はない。

13

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

イ ライフステージ等での状況

② 少年期

区分	項目	ベース値	最新値	目標	評価
少年期	6歳でむし歯のある市民の割合	(工) H28 39.5%	(才) R3 31.0%	35%以下	A
	12歳の市民における永久歯の1人平均むし歯数	(工) H28 0.57歯	(才) R3 0.41歯	0.5歯以下	A
	中学生で歯ぐきの状態について専門家の診断が必要と判定された市民の割合	(工) H28 3.1%	(才) R3 3.4%	減少	D

出典：
 (工)「京都市立学校・幼稚園」児童・生徒定期健康診断集計表
 (才)「京都市立幼稚園・学校」幼児・児童・生徒定期健康診断集計表
 評価項目判定区分：
 [A]目標達成、[B]改善傾向、[C]変化なし、[D]悪化、[-]評価困難

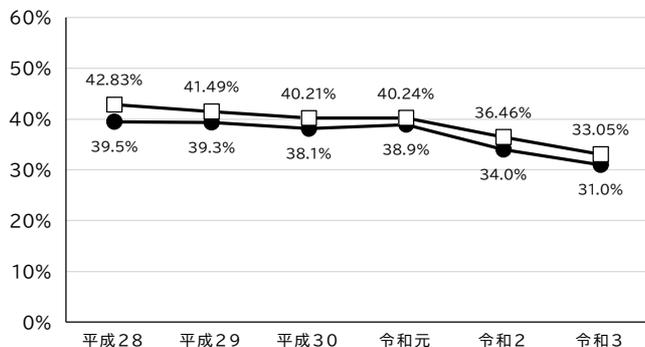
1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

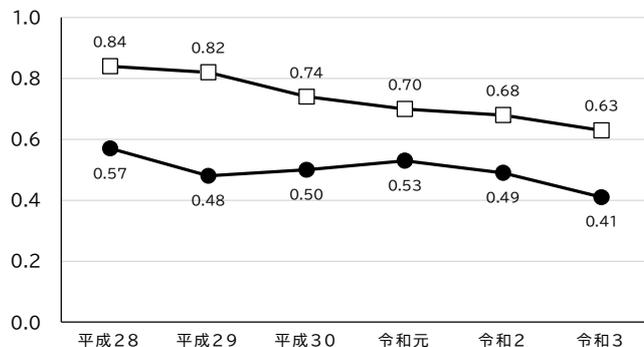
○ 6歳でむし歯のある市民の割合 **むし歯予防**

○ 12歳の市民における永久歯の1人平均むし歯数 **むし歯予防**

6歳でむし歯のある市民の割合



12歳の市民における永久歯の一人平均むし歯数



出典：(市)「京都市立幼稚園・学校」幼児・児童・生徒定期健康診断集計表
(国)学校保健統計調査

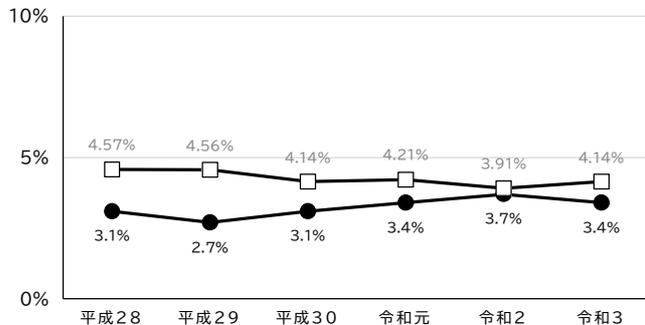
◇【むし歯予防】6歳児のむし歯罹患率及び12歳児の平均むし歯数はおおむね経年的に減少している。

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

○ 中学生で歯ぐきの状態について専門家の診断が必要と判定された市民の割合 **歯周病予防**

中学生で歯ぐきの状態について
専門家の診断が必要とされた市民の割合



出典：(市)「京都市立幼稚園・学校」
幼児・児童・生徒定期健康診断集計表
(国)学校保健統計調査

◇【歯周病予防】中学生の歯ぐきの状態については微増しているが、国の状況と比べるとやや少ないあるいは同程度の水準と考えられる。

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

イ ライフステージ等での状況

③ 青年期、壮年期、中年期、高齢期（その1）

区分	項目	ベース値			最新値			目標	評価
		(ア)	H28	25.8%	(ア)	R3	20.8%		
青年期、 壮年期、 中年期、 高齢期	20歳代で歯ぐきに炎症所見のある市民の割合	(ア)	H28	25.8%	(ア)	R3	20.8%	20%以下	B
	40歳代で進行した歯周炎を有する市民の割合	(ア)	H28	33.3%	(ア)	R3	33.7%	25%以下	C
	60歳代で進行した歯周炎を有する市民の割合	(ア)	H28	33.3%	(ア)	R3	53.8%	30%以下	D
	40歳代で歯間清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラ等）を使用している市民の割合	(カ)	H28	52.0%	—	—	—	60%以上	—
	60歳代で歯間清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合	(カ)	H28	48.2%	—	—	—	55%以上	—

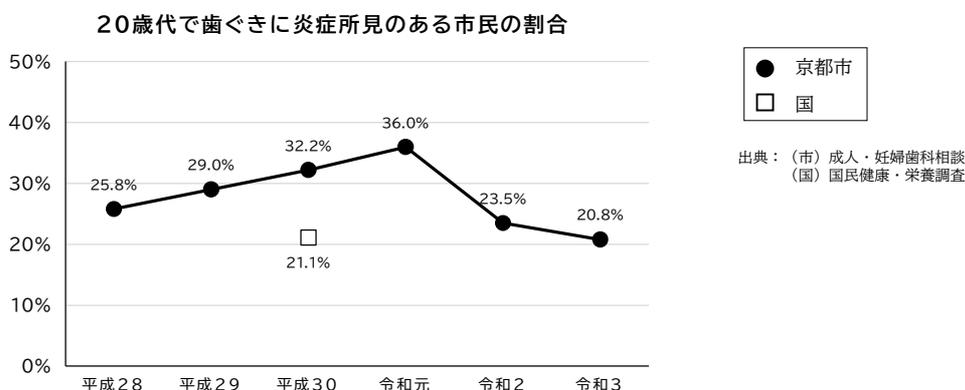
出典：
 (ア)京都市成人・妊婦歯科相談
 (イ)京都市市政総合アンケート
 評価項目判定区分：
 [A]目標達成、[B]改善傾向、[C]変化なし
 [D]悪化、[-]評価困難

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

○ 20歳代で歯ぐきに炎症所見のある市民の割合

歯周病予防



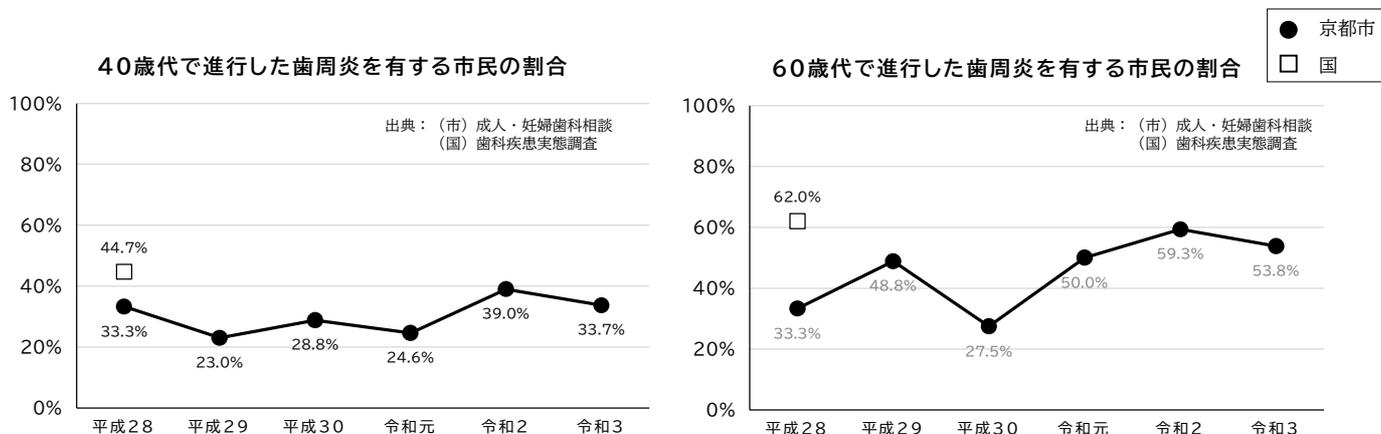
◇【歯周病の発症予防】20歳代の歯ぐきの炎症の状況は、計画期間前半は増加傾向を示したが、計画期間後半は改善傾向を示した。

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

○ 40歳代、60歳代で進行した歯周炎を有する市民の割合

歯周病予防



◇【歯周病の重症化予防】中年期・高齢期の進行した歯周炎の状況は、年度によりばらつきがみられるが、40歳代では変化なし～悪化傾向、60歳代では悪化の傾向にあると思われる。

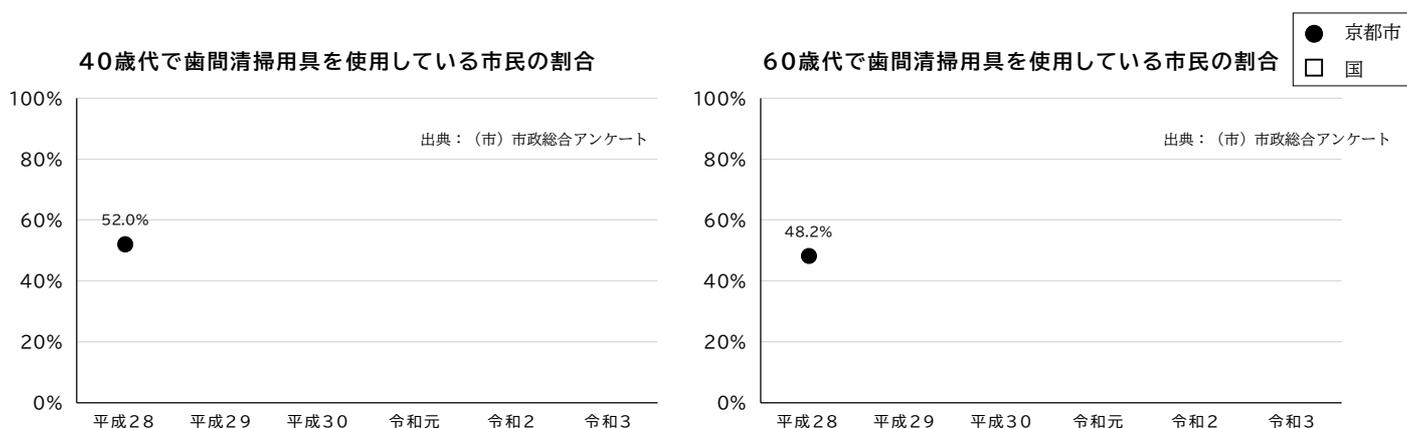
19

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

○ 40歳代、60歳代で歯間清掃用具を使用している市民の割合

歯科保健行動



◇【保健行動】指標の最新値が得られていないため、評価困難（R5年度に調査予定）

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

イ ライフステージ等での状況

③ 青年期、壮年期、中年期、高齢期（その2）

区分	項目	ベース値			最新値			目標	評価
		カ	H28	70.5%	キ	R3	70.8%		
青年期、 壮年期、 中年期、 高齢期	60歳代で咀嚼良好な（なんでもよく噛んで食べることができると回答した）市民の割合	(カ)	H28	70.5%	(キ)	R3	70.8%	80%以上	C
	60歳代で24歯以上の自分の歯を有する市民の割合	(カ)	H28	46.0%	(キ)	R3	66.4%	60%以上	A
	70歳以上で20歯以上の自分の歯を有する市民の割合	(カ)	H28	39.9%	(キ)	R3	52.7%	45%以上	A

出典：

(カ)京都市市政総合アンケート

(キ)京都市健康づくり・食育に関するアンケート調査

評価項目判定区分：

[A]目標達成、[B]改善傾向、[C]変化なし、[D]悪化、[-]評価困難

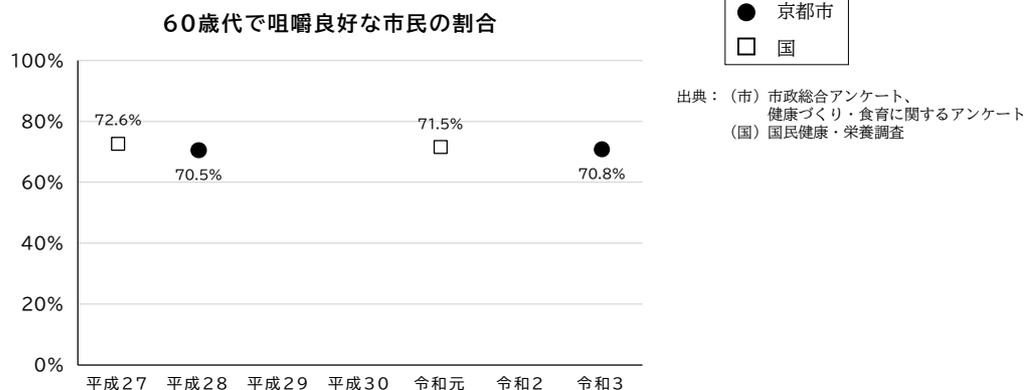
21

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

○ 60歳代で咀嚼良好な（なんでもよく噛んで食べることができると回答した）市民の割合

口腔機能



◇【口腔機能】高齢期の口腔機能の状況に大きな変化はみられない。なお、国の状況と比較し、大きな差はみとめられないと考えられる。

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

- 60歳代で24歯以上の自分の歯を有する市民の割合
- 70歳以上で20歯以上の自分の歯を有する市民の割合

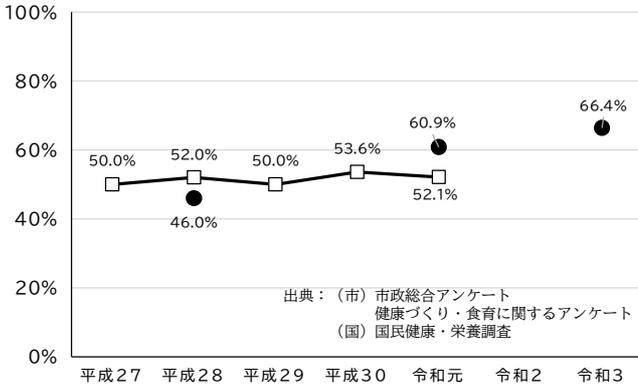
むし歯予防

歯周病予防

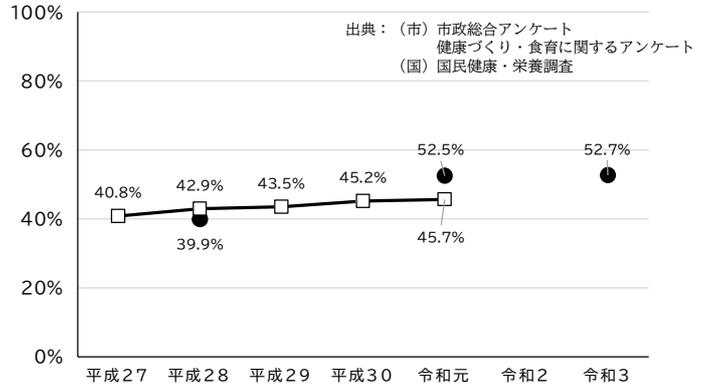
口腔機能

● 京都市
□ 国

60歳代で24歯以上の自分の歯を有する市民の割合



70歳以上で20歯以上の自分の歯を有する市民の割合



◇【疾病予防・口腔機能】それまでの疾病予防の状況や口腔機能の維持に関連する指標である歯の数については、60歳代、70歳以上ともに目標に至り、増加傾向を示している。

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

イ ライフステージ等での状況

- ④ 障害者（児）・要介護高齢者をはじめとした配慮が必要な方

区分	項目	ベース値	最新値	目標	評価
障害者（児）、要介護高齢者	障害者（児）入所施設における定期歯科健診の実施率	(ク) H27 80.0%	— — —	80%以上	—
	要介護高齢者入所施設（介護老人福祉施設・介護老人保健施設）における定期歯科健診の実施率	(ク) H27 54.5%	— — —	60%以上	—

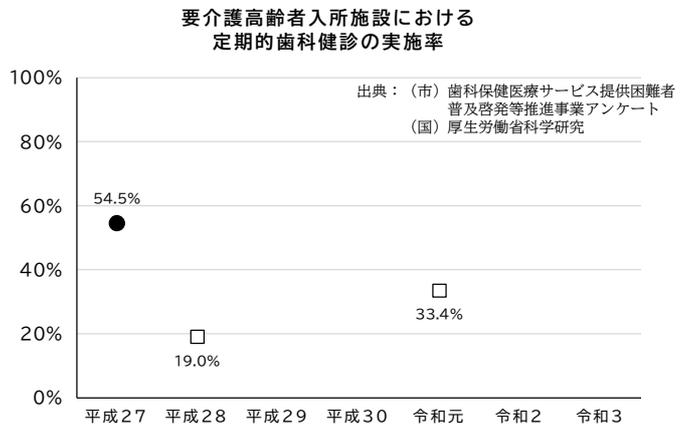
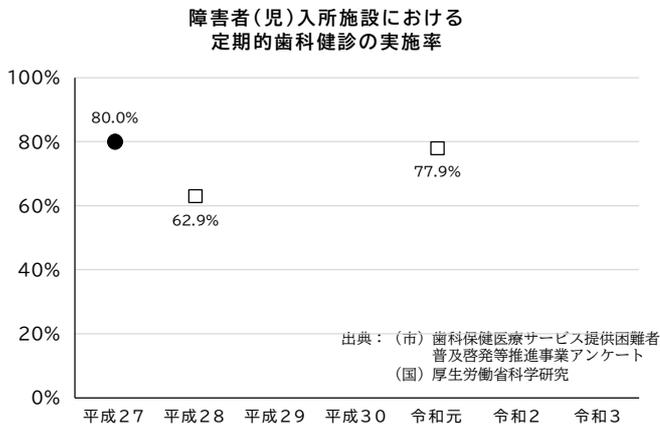
出典：
(ク) 京都市歯科保健医療サービス提供困難者普及啓発等推進事業アンケート
評価項目判定区分：
[A]目標達成、[B]改善傾向、[C]変化なし、[D]悪化、[—]評価困難

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

- 障害者（児）入所施設における定期歯科健診の実施率 社会環境
- 要介護高齢者入所施設（介護老人福祉施設・介護老人保健施設）
における定期歯科健診の実施率 社会環境

● 京都市
□ 国



◇【歯科健診】指標の最新値が得られていないため、評価困難（R5年度に調査予定）

25

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

イ ライフステージ等での状況

⑤ 共通

区分	項目	ベース値		最新値		目標	評価		
共通	20歳以上でこの1年間に歯科健診を受けている市民の割合	(カ)	H28	47.4%	(キ)	R3	40.2%	65%以上	D
	18歳以上で「丁寧に歯をみがく」ことを意識している市民の割合	(カ)	H28	63.8%	(キ)	R3	52.5%	70%以上	D

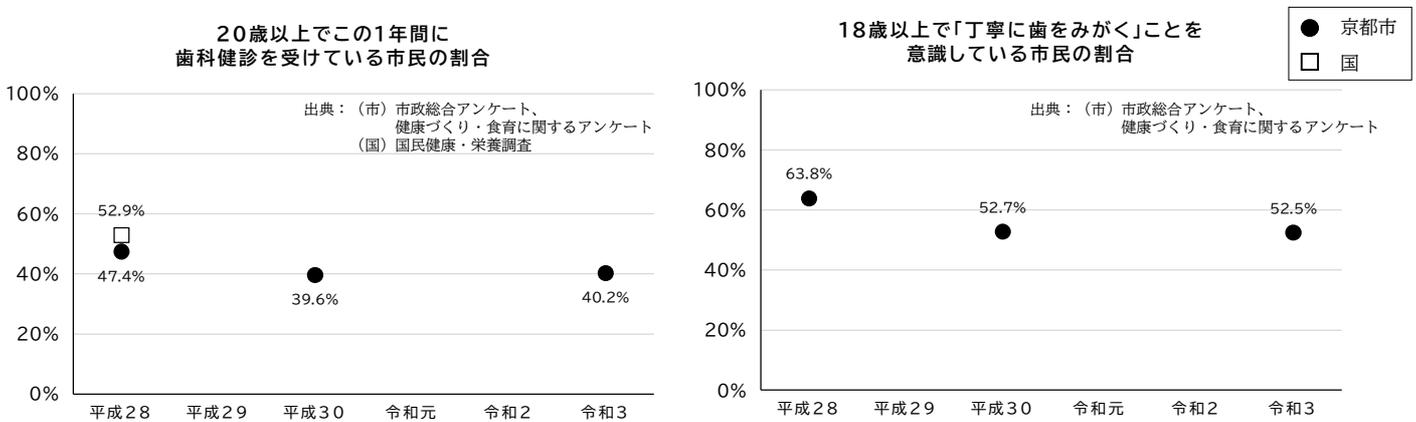
出典：
 (カ)京都市市政総合アンケート
 (キ)京都市健康づくり・食育に関するアンケート調査
 評価項目判定区分：
 [A]目標達成、[B]改善傾向、[C]変化なし、[D]悪化、[-]評価困難

26

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(3) 関連数値の状況

- 20歳以上でこの1年間に歯科健診を受けている市民の割合 歯科保健行動 社会環境
- 18歳以上で「丁寧に歯をみがく」ことを意識している市民の割合 歯科保健行動



◇【歯科健診】市民の歯科健診の受診状況については、悪化傾向がみられる。なお、新型コロナによる歯科健診の受診控えの影響も考えられる（R3アンケート結果 「コロナ禍だから今は（歯科健診・歯科治療を）受けていない」6.9%、「コロナ禍で控えていることとして、歯科健診を選択」16.9%）。

◇【保健行動】丁寧に歯をみがくことの意識の状況は減少がみられる。

27

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(4) まとめ

<基本的な取組① 口腔機能の育成・低下予防>

- ・ 高齢期の歯の本数は、口腔機能の維持及び、それまでのむし歯や歯周病の疾患予防の取組の評価の一つの目安となりうる。
- ・ 高齢期の自分の歯の本数としては、自分の歯でだいたいのもを食べることのできる本数を維持している方が増加していると考えられる。
- ・ 高齢期の口腔機能の低下予防について、咀嚼良好者の割合は大きな変化がみとめられなかったが、高齢期の歯の本数を維持している方の増加を考慮すると市民の口腔機能の状況は上向きの状況にあると考えられる。
- ・ 子どもの口腔機能の育成に関しては、大きな変化がみとめられなかったが、設定した指標が適切であったかどうかも含め、検討が必要と考えられる。

28

1 現行の本市口腔保健推進実施計画の暫定評価

(4) まとめ

<基本的な取組② むし歯予防と歯周病予防>

- ・ 子どものむし歯予防については、3歳児の直近の動向の変化には注意が必要なものの、経年的にはいずれの年齢層でもおおむね減少傾向にあると考えられる。
- ・ 現行では、成人期以降のむし歯の状況の直接の指標は設定していない。
- ・ 中学生の歯ぐきの状況については、大きな変化はないが、おおむね全国値より少ないあるいは同程度の状況である。
- ・ 成人期以降の歯周病の状況については、国の直近データも不足しており、状況の判断が難しいが、とりわけ中年期以降の進行した歯周炎のある市民の割合が増加していることが懸念される。

<基本的な取組③ かかりつけ歯科での定期的な歯科健診>

- ・ 全国データが不足しており比較が難しいが、市民の状況としては、20歳以上での過去1年間に歯科健診を受診している割合が減少しており、コロナ禍の影響を加味しても課題である。

⇒ 各課題に応じて、引き続き、かかりつけ歯科での定期的な歯科健診・歯科受診につながるよう啓発等に取り組んでいく。

29

2 国の歯科口腔保健の推進に関する基本的事項

(1) 現行基本的事項の評価

歯科口腔保健の推進に関する基本的事項最終評価報告書
(令和4年10月11日)に基づき作成

ア 目標項目(19項目)

目標達成	2 (10.5%)
改善傾向	6 (31.6%)
変化なし	1 (5.3%)
悪化	1 (5.3%)
評価困難	9 (47.4%)

- ・ 12歳児でう蝕のない者の割合の増加
- ・ 20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少

- ・ 3歳児で不正咬合等が認められる者の割合の減少

イ 評価のまとめ

- 「定期的に歯科検診や歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健」と「歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備」に関する項目は特に改善傾向が認められた。
- 「歯科疾患の予防」については、評価が可能であったう蝕に関連する項目や若年層の歯周病に関する項目では改善傾向が認められた。
- 障害者支援施設や介護老人福祉施設等での定期的な歯科検診実施率や定期的に歯科健診(検診)を受診する者が増加している。
- この10年間で歯科口腔保健の取組は大きく進み、国民の歯及び口腔の健康への関心が高まったことにより、総じて、歯・口腔の状態は向上していると考えられる。

2 国の歯科口腔保健の推進に関する基本的事項

(2) 次期基本的事項（案）

第15回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会
(厚労省、令和4年12月23日開催)の
資料に基づき作成

ア 計画期間

12年間（令和6年4月～令和18年3月）

令和11年度	中間評価
令和15年度	最終評価
令和16年度	次々期基本的事項作成
令和17年度	自治体次々期基本的事項策定
令和18年度	次々期基本的事項開始

(計画期間の理由)

- ・ 他計画（次期国民健康づくり運動プラン、医療費適正化計画6年、医療計画6年等）の計画期間との一致
- ・ 健康増進への効果を短期間で測ることは困難

31

イ 歯科口腔保健パーパス

第15回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会
(厚労省、令和4年12月23日開催)資料から引用

たたき台

次期基本的事項における歯科口腔保健パーパス（案：第4版）

次期基本的事項が目指す方向性を明確化し実現していくために、歯科口腔保健パーパス（社会的な存在意義・目的・意図）を設定する。

これまでの成果

- ・ こどものう蝕の減少・高齢者の歯数の増加にみられる口腔衛生状態の改善傾向
- ・ 歯科保健医療へのアクセスが困難な者への対応の改善
- ・ 自治体などによる口腔の健康づくりの取組の推進
- ・ 診療報酬等による口腔管理等への対応
- ・ 国民の歯科口腔保健への関心の向上

課題

- ・ 基本的事項の一部の指標が悪化
- ・ 定期的な歯科検（健）診の受診率
- ・ 歯や口腔の健康に関する健康格差や地域格差
- ・ 自治体内外の関係部局・関係職種や職域等の連携
- ・ PDCAサイクルの推進が不十分
- ・ 新興感染症発生時等のデータ収集における課題

予想される 歯科口腔保健を取り巻く環境の変化

- ・ 総人口減少、子ども・若者の減少、高齢化の進展
- ・ デジタルトランスフォーメーションの加速
- ・ PHRを含めたデータヘルスのさらなる活用

歯科口腔保健パーパス Oral Health Purpose

全ての国民にとって健康で質の高い生活を営む基盤となる 歯科口腔保健の実現

①個人のライフコースに沿った歯や口腔の健康づくりを展開できる社会環境の整備

②より実効性をもつ取組を推進するために適切なPDCAサイクルの実施

- ・ 個人の特性・背景に配慮しつつ、様々なライフステージにおける課題に対する切れ目のない歯科口腔保健を展開することにより、個人のライフコースに沿った支援の実現
- ・ 様々な担い手が有機的に連携することによる社会環境の整備
- ・ 基本的な歯科口腔保健に関する情報収集体制と管理体制の確立
- ・ 各地域・社会状況等に応じた適切なPDCAサイクルを実行できるマネジメント体制の強化

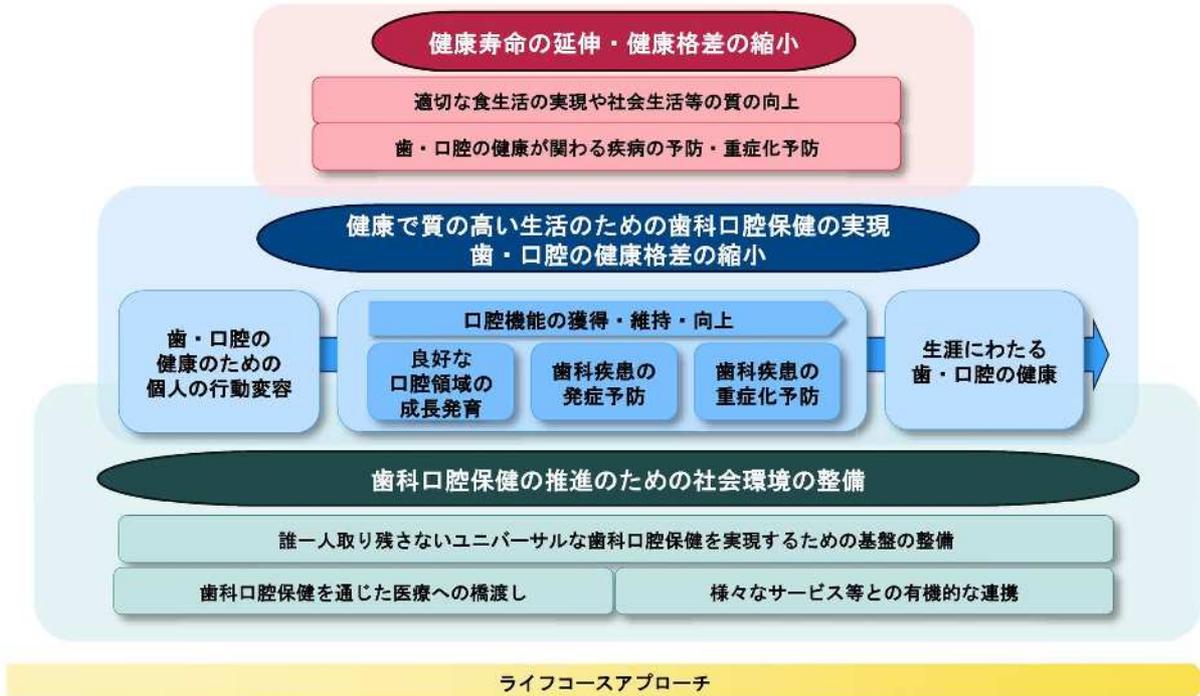
ウ グランドデザイン

第15回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会
(厚労省、令和4年12月23日開催) 資料から引用

たたき台

次期基本的事項のグランドデザイン（案：第4版） ※内容のイメージ

歯科口腔保健パーパスの実現のために、以下に示す方向性で歯・口腔の健康づくりを進める。



33

エ 数値目標

第15回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会
(厚労省、令和4年12月23日開催) 資料から引用、追記

「1. 口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小」に関する数値目標案（まとめ）

子どものむし歯については、罹患率から多数歯むし歯へ

指標案	告示	直近値	数値目標案
(1) 3歳児で4本以上のう蝕のない者の割合の増加	○	96.5%	100%
(2) 12歳児でう蝕のない者の割合が90%以上の都道府県数の増加	○	0都道府県	25都道府県
(3) 40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合の減少	○	22.7%	5%

より若い年齢層から口腔機能の維持（歯の本数）を考える

工 数値目標

第15回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会
(厚労省、令和4年12月23日開催)資料から引用、追記

「2. 歯科疾患の予防」に関する数値目標案（まとめ）

指標案	告示	直近値	数値目標案
大人のむし歯も課題に			
<う蝕>			
(4) 20歳以上における未処置歯を有する者の割合の減少	○	33.6%	20%
(5) 30歳以上における未処置の根面う蝕を有する者の割合の減少	○	—	5%
① 3歳児でう蝕のない者の割合の増加	—	88.2%	95%
② 12歳児でう蝕のない者の割合の増加	—	70.6%	95%
③ 60歳以上における未処置の根面う蝕を有する者の割合の減少	—	—	10%
<歯周病>			
(6) 中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	○	19.8%	10%
(7) 20歳代～30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	○	24.5%	15%
(8) 40歳以上における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	○	56.2%	40%
④ 20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	—	21.1%	10%
⑤ 40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	—	44.7%	25%
⑥ 60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	—	62.0%	45%
<歯数>			
(9) 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	○	51.2%	85%
⑦ 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	—	74.4%	95%

35

工 数値目標

第15回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会
(厚労省、令和4年12月23日開催)資料から引用、追記

「3. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上」に関する数値目標案（まとめ）

指標案	告示	直近値	数値目標案
(10) 50歳以上における咀嚼良好者の割合の増加	○	70.9%	80%
⑧ 60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	—	71.5%	80%
⑨ 80歳での咀嚼良好者の割合の増加	—	54.9%	70%

より若い年齢層から口腔機能の維持を考える

工 数値目標

第15回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会
(厚労省、令和4年12月23日開催)資料から引用、**追記**

「5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備」に関する数値目標案(まとめ)①

社会環境の整備として、都道府県や市町村の取組を評価

指標案	告示	直近値	数値目標案
<地方自治体の歯科口腔保健施策への取組状況>			
(13) 歯科口腔保健の推進に関する条例を制定している保健所設置市・特別区の割合の増加	○	34.3%	60%
(14) 歯科口腔保健に関する事業の効果検証を実施している市町村の割合の増加	○	28.7%	100%
⑩市町村支援を実施している都道府県数の増加	—	87.5%(35/40)	47都道府県
⑪歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(歯科口腔保健計画を含む)を策定している市町村の割合の増加	—	87.2%	100%
<歯科健診>			
(15) 過去1年間に歯科検(健)診を受診した者の割合の増加	○	52.9%	95%
(16) 歯科健診を独自に実施している市町村の割合の増加	○	45.6%	100%
<歯科疾患の予防の取組>			
(17) 15歳未満でフッ化物応用の経験がある者の増加	○	66.7%	80%
⑫乳幼児期におけるフッ化物塗布に関する事業を実施している市町村の割合の増加	—	67.0%	80%
⑬学齢期におけるフッ化物洗口に関する事業を実施している市町村の割合の増加	—	49.7%	60%
⑭歯周病に関する事業を実施している都道府県数の増加	—	80%(32/40)	47都道府県

37

工 数値目標

第15回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会
(厚労省、令和4年12月23日開催)資料から引用、**追記**

「5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備」に関する数値目標案(まとめ)①

社会環境の整備として、都道府県や市町村の取組を評価

指標案	告示	直近値	数値目標案
<口腔機能の維持・向上の取組>			
⑮口腔機能の育成に関する事業を実施している都道府県数の増加	—	67.5%(27/40)	47都道府県
⑯口腔機能低下対策に関する事業を実施している都道府県数の増加	—	85%(34/40)	47都道府県
<障害者(児)・要介護高齢者への取組>			
⑰障害者(児)に関する歯科口腔保健事業を実施している都道府県数の増加	—	87.9%(29/40)	47都道府県
⑱要介護高齢者に関する歯科口腔保健事業を実施している都道府県数の増加	—	78.8%(26/40)	47都道府県
⑲在宅等で生活等する障害者(児)に関する歯科口腔保健事業を実施している都道府県数の増加	—	45.5%(15/40)	47都道府県
⑳在宅等で生活等する要介護高齢者に関する歯科口腔保健事業を実施している都道府県数の増加	—	30.3%(10/40)	47都道府県
<医科歯科連携への取組>			
㉑医科歯科連携に関する事業を実施している都道府県数の増加	—	52.5%(21/40)	47都道府県

38

3 本市の次期計画の検討に向けて

(1) 枠組み

【計画期間：平成30年度～令和5年度】

- ① 健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン
- ② 京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」

【計画期間：平成28年度～令和5年度】

- ③ 健康長寿のまち・京都食育推進プラン

①②③の次期計画の策定（令和6年度～）に向けては、健康寿命を延伸していくために、とりわけ相互に関連性の強い「運動」「口腔」「栄養」の取組をつなげ、市民にも分かりやすくより効果的なものとしていくことが重要となるため、各分野の計画を一体的に策定することで、本市の健康づくりをこれまで以上に力強く推進していく。

3 本市の次期計画の検討に向けて

(2) 検討スケジュール（予定）

令和4年度		
1月	口腔保健部会	・健康づくり等のに関するアンケート案 ・次期プラン骨子（案）作成のための意見交換
3月	健康づくり推進会議（R4 2回目）	・健康づくり等のに関するアンケート案 ・次期プラン骨子（案）
令和5年度		
～5月	健康づくり・口腔・食育に関するアンケート	
	障害児者施設・要介護高齢者施設へのアンケート（歯科健診実施状況）	
8月	口腔保健部会等の各部会（R5 1回目）	・アンケート報告 ・プラン骨子案検討
9月	健康づくり推進会議（R5 1回目）	
10月	口腔保健部会等の各部会（R5 2回目）	・プラン検討 ・パブリックコメント案検討
11月	健康づくり推進会議（R5 2回目）	
～12月	パブリックコメント	
2月	口腔保健部会等の各部会（R5 3回目）	・プラン最終案
3月	健康づくり推進会議（R5 3回目）	・プラン策定

3 本市の次期計画の検討に向けて

(3) 口腔関連の調査の実施

ア 目的

- ・ 現行の実施計画の最終評価
- ・ 次期計画の口腔部分の検討に向けた状況把握
- ・ 次期計画の関連数値のベースライン値の取得

イ 方法

- (1) 京都市の実施する事業等の結果から経年的に把握
 歯科相談事業や乳幼児健診、児童・生徒定期健康診断、その他事業実績等から把握
- (2) ある時点での市民や対象施設等へのアンケートにより把握
 - ・ (予定) 令和5年度健康づくり・口腔・食育に関するアンケート
 - ・ (予定) 令和5年度障害児者・要介護高齢者施設アンケート（歯科）

41

3 本市の次期計画の検討に向けて

(3) 口腔関連の調査の実施

ウ 令和5年度の市民や対象施設等へのアンケートにより把握すべき内容

○ 令和5年度健康づくり・口腔・食育に関するアンケート

目的	数値項目	R3アンケートから
現行評価 + 次期 検討	40歳代で歯間清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合	追加
	60歳代で歯間清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合	追加
	60歳代で咀嚼良好な（なんでも噛んで食べることができると回答した）市民の割合	継続
	60歳代で24歯以上の自分の歯を有する市民の割合	継続
	70歳以上で20歯以上の自分の歯を有する市民の割合	継続
	20歳以上でこの1年間に歯科健診を受けている市民の割合	継続
	18歳以上で「丁寧に歯をみがく」ことを意識している市民の割合	追加
次期 検討	50歳以上、60歳代、80歳での咀嚼良好な市民の割合	継続で評価可
	60歳代で24歯以上、80歳で20歯以上の自分の歯を有する市民の割合	継続で評価可
	フッ化物応用の経験のある市民の割合	追加

⇒資料4 アンケート案、資料5 新旧対照表へ

42

3 本市の次期計画の検討に向けて

(3) 口腔関連の調査の実施

ウ 令和5年度の市民や対象施設等へのアンケートにより把握すべき内容

○ 障害児者・要介護高齢者施設アンケート（歯科）

目的	数値項目	方針
現行評価	障害者（児）入所施設における定期歯科健診の実施率	調査対象施設を入所施設だけでなく、通所施設まで拡大することを検討
	要介護高齢者入所施設（介護老人福祉施設・介護老人保健施設）における定期歯科健診の実施率	
次期検討	障害者（児）が利用する施設での1年間に1度以上の歯科検診の実施率	
	要介護高齢者が利用する施設での1年間に1度以上の歯科検診の実施率	

43

3 本市の次期計画の検討に向けて

(4) 次期内容に関する意見交換

論点① 現行実施計画からの継続課題と国の次期基本的事項（案）を踏まえて

- ・ 「かかりつけ歯科での定期的な歯科健診」の推進
- ・ 「口腔機能の育成・低下予防」「むし歯予防と歯周病予防」の取組の継続
- ・ すべてのライフステージにおける「むし歯予防と歯周病予防」
- ・ より若い年代からの「口腔機能の低下予防」「歯の喪失防止」

論点② 本市健康づくり関連3計画の一体的策定に向けて

例えば、

- ・ 運動、栄養・口腔、・社会参加の一体的取組
- ・ “食”分野との連携
- ・ 糖尿病発症・重症化予防等の医歯薬連携
- ・ 取組手法としての他分野の関係機関との連携
（歯科からの連携、歯科への連携、歯科にこだわらずの連携 等）
- ・ その他、検討すべき課題

44

令和5年度 健康づくり・口腔・食育に関するアンケート 御協力をお願い

日頃から京都市政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、京都ならではの地域力・文化力の強みを活かした健康づくりを市民ぐるみで推進する「健康長寿のまち・京都」や「食」を通して「人」、「家族」、「地域」、「世代」がつながり、すべての市民が生涯にわたって健康で心豊かに暮らすための食育の取組を市民の皆様と進めています。

このアンケートは、今後の健康づくり・**口腔保健**・食育に係る諸施策の一層の推進の基礎資料とさせていただきます。

アンケートに御協力いただく方は、市内にお住まいの15歳以上の方（**令和5年4月1日現在**）の中から無作為で選ばせていただいた5,000人の方です。

お答えいただいた内容は、統計資料を得る目的のみ使用し、皆様には不利益とならないように、秘密の保持には万全を期しておりますので、御協力をお願いいたします。

令和5年4月

京都市

記入上のお願い

- アンケート票は、封筒の宛名の方、御本人が記入してください。
ただし、何らかの事情で御本人が記入できない場合には、その方の状況がわかる方が代わりに記入してください。
- 各質問項目については、あてはまる回答項目の番号に○をつけるか、又はあてはまる数字等を記入してください。
- 「その他」の回答項目を選択された場合は、「カッコ（）」内に具体的な内容等を記入してください。

御記入いただいたアンケート票は、お手数ですが、同封の返信用封筒にて、**無記名のまま切手を貼らずに、令和5年〇月〇日（〇）まで**に御返送くださいますようお願いいたします。

インターネットからの回答も可能です。

URL: <https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?acs=r3health>



インターネット回答用 ID _____ (例) a1234

※このIDは郵送回答とインターネット回答の重複を避けるためのものであり、回答者個人を特定するものではありません。



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

《このアンケートに関するお問い合わせ先》

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室
健康長寿企画課 担当：●●、△△

TEL：075-222-3411 FAX：075-222-3416

健康づくりに関するアンケート票

問1 性別をお答えください。

- 1 男 2 女 3 答えたくない 4 その他 ()

問2 **令和5年4月1日**現在の年齢はおいくつですか。

() 歳

問3 お住まいはどちらですか。

- 1 北区 2 上京区 3 左京区 4 中京区 5 東山区
6 山科区 7 下京区 8 南区 9 右京区 (京北除く)
10 右京区京北 11 西京区 (洛西管内除く) 12 西京区洛西管内
13 伏見区 (深草・醍醐管内除く) 14 伏見区深草管内 15 伏見区醍醐管内

問4 現在の職業は次のうちどれですか。

- 1 自営業・自由業 2 会社員・公務員 3 農林漁業従事者
4 主婦・主夫 5 学生 6 パート・アルバイト
7 無職 8 その他 ()

問5 身長、体重、歯の数をお教えてください (身長と体重は、お分かりであれば、小数点第1位まで、歯の数は、できれば鏡を見てお答えください)。

身長 _____ cm 体重 _____ kg 歯の数 _____ **歯**

※ 親知らずを除く大人の歯 (永久歯) が生えそろうと28歯です (個人差があります)。

歯の数は整数で御記入ください。

- ・被せ物をしている歯や差し歯など、自分の歯の根が残っている歯は数えます。
- ・根だけ残っている歯も数えます。
- ・取り外しのできる入れ歯やインプラントは数えません。



大人の歯並びの例

問9 自分自身の普段の生活について、お答えください。

	できている	取り組みたいが 実行できない	興味がなく していない
規則正しく朝・昼・夕の食事をとる	1	2	3
塩分を取りすぎない	1	2	3
野菜をたくさん食べる	1	2	3
肉・魚・卵・大豆製品を毎日食べる	1	2	3
食べ過ぎない	1	2	3
適度に運動（スポーツを含む）をするか 身体を動かす	1	2	3
睡眠を十分にとる	1	2	3
たばこを吸わない	1	2	3
お酒を飲み過ぎない	1	2	3
ストレスをためない	1	2	3
丁寧に歯をみがく	1	2	3
歯間ブラシや糸ようじを使用する	1	2	3
ゆっくりよく噛んで食べる	1	2	3
定期的に健（検）診を受ける	1	2	3
適正体重を維持する	1	2	3

補問 9-1 上記以外で健康のために普段の生活で心がけていることがあればお答えください。

()

問10 以下の言葉を御存じか、お答えください。

	意味を含めて 知っている	聞いたことはあるが 良く知らない	知らない
健康寿命	1	2	3
フレイル	1	2	3
オーラルフレイル	1	2	3
ロコモティブシンドローム	1	2	3
COPD（慢性閉塞性肺疾患）	1	2	3

※それぞれの言葉の説明は、最後のページに掲載しています。

問 18 喫煙※されていますか。※喫煙には、紙巻きたばこの他、加熱式たばこ、電子たばこを含みます。

- 1 喫煙している →補問 18-1、18-2 へ 2 過去に喫煙していたが、止めた
3 もともと喫煙していない

補問 18-1 あなたが喫煙している製品についてお聞きします（あてはまる番号すべてに○をつけてください）。

- 1 紙巻たばこ※1 2 加熱式たばこ※2 3 電子たばこ 4 その他※3（ ）

※1紙巻きたばことは、従来型のたばこです。

※2わが国で販売されている加熱式たばこは、リルハイブリッド、アイコス、グロー、ブルーム、パルズの5種類です。

※3その他とは、葉巻、パイプたばこ、手巻きたばこ、かぎたばこ、かみたばこ、水パイプたばこ、キセルを指します。

補問 18-2 喫煙をやめたいと思いますか。

- 1 やめたい 2 本数を減らしたい 3 やめたくない 4 わからない

問 19 過去 1 箇月に受動喫煙（他人の喫煙によりたばこの煙にさらされること）を受けた場所がありますか。

- 1 ある →補問 24-1 へ 2 ない

補問19-1 受動喫煙を受けた場所は、どちらですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

※学校、飲食店、遊技場などに勤務していて、その職場で受動喫煙があった場合は、「2 職場」欄に○をつけてください。

- 1 家庭 2 職場 3 学校 4 飲食店
5 遊技場（ゲームセンター、パチンコ、競馬場など） 6 行政機関（市役所など）
7 医療機関 8 公共交通機関 9 路上
10 子どもが利用する屋外の空間（公園など）

問 20 お酒を飲む頻度はどれぐらいですか。

- 1 毎日 2 時々 3 ほとんど飲まない（飲めない）

→ 1～2に○をつけた方は補問 20-1 へ

補問 20-1 飲酒日の1日当たりの飲酒量はどれぐらいですか（日本酒に換算してお答えください）。

- 1 1合未満 2 1～2合未満 3 2～3合未満 4 3合以上

※日本酒1合（180ml）の目安：ビール500ml、酎ハイ・ハイボール（7%）350ml、ウイスキーダブル1杯（60ml）、ワイン2杯（240ml）

問 32 ふだん家族や友人と一緒に食事をしていますか。

- 1 している →補問 28-1 へ 2 していない 3 コロナ禍だから、今はしていない

補問 32-1 家族や友人と一緒に1日1回以上食事をする日がどのくらいありますか。

- 1 ほとんど毎日 2 週に4～5日 3 週に2～3日
4 週に1日程度 5 週に1日程度より少ない

問 33 主食・主菜・副菜を3つそろえた食事を1日に2回以上とる日が、どのくらいありますか。

- 1 ほとんど毎日 2 週4～5日 3 週に2～3日 4 ほとんどない

問 34 ふだん朝食を食べますか。

- 1 ほとんど毎日食べる 2 週4～5日食べる
3 週2～3日食べる 4 ほとんど食べない

問 35 1日当たりどのくらいの量の野菜をとっていますか。

※ 一皿の目安は約70gです。右図参照。

- 1 5皿以上 (350g) 2 4皿 (280g) 3 3皿 (210g)
4 2皿 (140g) 5 1皿 (70g) 6 とっていない



問 36 あなたは、ふだん外食や食品を購入するときに、食品の表示（原材料・添加物・栄養成分・産地等）を参考にしていますか。

- 1 いつもしている 2 時々している
3 あまりしていない 4 まったくしていない

問 37 京都又は近郊で採れた農産物を日ごろから購入するようにしていますか。

- 1 いつも購入している 2 なるべく購入している
3 購入していない 4 産地を気にしていない

問 38 あなたは、ふだん食べ残しやごみを減らす工夫をしていますか。

※ごみを減らす工夫の例

・食材を使いきる ・食べ残さない ・買い過ぎない、外食時注文し過ぎない

家族や友人との食事の頻度（問28 関連）

コロナ禍以前の頻度はどの程度でしたか。

- 1 ほとんど毎日 2 週に4～5日 3 週に2～3日
4 週に1日程度 5 ほとんどない



質問は以上です。御協力ありがとうございました。

《問10の言葉の説明》

健康寿命

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

フレイル

年齢を重ねることにより、からだやこころが弱った状態

オーラルフレイル

「話す」「食べる」などの口腔機能が弱った状態

ロコモティブシンドローム

運動器（骨や関節、筋肉など）が衰えて、歩く・走る・立つ・座る・上がるなどの移動機能の低下をきたした状態

COPD（慢性閉塞性肺疾患）

たばこの煙など毒素の吸入により免疫反応が続いた結果、破壊された組織と増えたたんなどによる気道閉鎖がおこりやすい状態のこと。

健康づくりアンケートに関する新旧対照表（口腔関連抜粋）

令和3年度（前回）	令和5年度（今回）
<p>令和3年度 健康づくり・食育に関するアンケート</p> <p>市内にお住まいの15歳以上の方（令和3年8月1日現在）の中から無作為で選ばせていただいた5,000人の方</p> <p>問5 身長、体重、歯の数をお教えてください（身長と体重は、お分かりであれば、小数点第1位まで、歯の数は、できれば鏡を見てお答えください）。</p> <p>身長 _____ cm 体重 _____ kg 歯の数 _____ 本</p> <div data-bbox="262 911 797 1251" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※ 親知らずを除く大人の歯（永久歯）が生えそろうと28歯です（個人差があります）。 歯の数は整数で御記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被せ物をしている歯や差し歯など、自分の歯の根が残っている歯は数えます。 ・根だけ残っている歯も数えます。 ・取り外しのできる入れ歯やインプラントは数えません。 </div> <div data-bbox="835 1046 1088 1206" style="text-align: center;">  <p>大人の歯並びの例</p> </div>	<p>令和5年度 健康づくり・口腔・食育に関するアンケート</p> <p>市内にお住まいの15歳以上の方（令和5年4月1日現在）の中から無作為で選ばせていただいた5,000人の方</p> <p>問5 身長、体重、歯の数をお教えてください（身長と体重は、お分かりであれば、小数点第1位まで、歯の数は、できれば鏡を見てお答えください）。</p> <p>身長 _____ cm 体重 _____ kg 歯の数 _____ 歯</p> <div data-bbox="1187 911 1722 1251" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※ 親知らずを除く大人の歯（永久歯）が生えそろうと28歯です（個人差があります）。 歯の数は整数で御記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被せ物をしている歯や差し歯など、自分の歯の根が残っている歯は数えます。 ・根だけ残っている歯も数えます。 ・取り外しのできる入れ歯やインプラントは数えません。 </div> <div data-bbox="1760 1046 2013 1206" style="text-align: center;">  <p>大人の歯並びの例</p> </div>

令和3年度（前回）

令和5年度（今回）

問9 自分自身の普段の生活について、お答えください。

	できている	取り組みたいが実行できない	興味がなくしていない
規則正しく朝・昼・夕の食事をとる	1	2	3
塩分を取りすぎない	1	2	3
野菜をたくさん食べる	1	2	3
肉・魚・卵・大豆製品を毎日食べる	1	2	3
食べ過ぎない	1	2	3
適度に運動（スポーツを含む）をするか身体を動かす	1	2	3
睡眠を十分にとる	1	2	3
たばこを吸わない	1	2	3
お酒を飲み過ぎない	1	2	3
ストレスをためない	1	2	3
丁寧に歯をみがく	1	2	3
歯間ブラシや糸ようじを使用する	1	2	3
ゆっくりよく噛んで食べる	1	2	3
定期的に健（検）診を受ける	1	2	3
適正体重を維持する	1	2	3

補問 9-1 上記以外で健康のために普段の生活で心がけていることがあればお答えください。

{ }

令和3年度（前回）

問10 以下の言葉を御存じか、お答えください。

	意味を含めて 知っている	聞いたことは あるが 良く知らない	知らない
健康寿命	1	2	3
フレイル	1	2	3
オーラルフレイル	1	2	3
ロコモティブシンドローム	1	2	3
COPD(慢性閉塞性肺疾患)	1	2	3

※それぞれの言葉の説明は、最後のページに掲載しています。

令和5年度（今回）

問10 以下の言葉を御存じか、お答えください。

	意味を含めて 知っている	聞いたことは あるが 良く知らない	知らない
健康寿命	1	2	3
フレイル	1	2	3
オーラルフレイル	1	2	3
ロコモティブシンドローム	1	2	3
COPD(慢性閉塞性肺疾患)	1	2	3

※それぞれの言葉の説明は、最後のページに掲載しています。

令和3年度（前回）

問19 毎日、歯みがきをするタイミングはいつですか（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）。

- 1 朝食後 2 昼食後 3 夕食後 4 寝る前
5 その他のタイミング 6 毎日、みがいていない

（参考）平成28年度市政総合アンケート

問8 あなたは、歯ブラシでの歯の清掃に加えて、歯と歯の間や舌などの清掃を行っていますか。次の中から当てはまるものすべてをお選びいただき、○をつけてください。

- 1 デンタルフロスや歯間ブラシなどで、歯と歯の間を清掃する
2 舌用ブラシや歯ブラシなどで、舌を清掃する
3 その他の道具を使って、歯と歯の間や舌などを清掃する
4 洗口液（デンタルリンスやうがい液など）を使用する
5 行っていない

問13 あなたは、むし歯予防のためにフッ化物（フッ素）を使用していますか。次の中から当てはまるものすべてをお選びいただき、○をつけてください。

- 1 日常の歯みがきでフッ化物配合の歯みがき剤を使用している
2 日常的に（習慣的に）フッ化物のうがい剤でうがいをしている（施設等で行う場合も含む）
3 歯科医院でフッ化物の薬剤を歯の表面に塗った経験がある
4 使用していない、経験がない 5 わからない

令和5年度（今回）

問26 歯をみがく頻度はどのくらいですか（あてはまる番号すべてに○をつけてください）。

- 1 毎日4回以上 2 毎日3回 3 毎日2回
4 毎日1回 5 毎日ではないが、時々みがく
6 みがかない 7 歯がまったくくない

問27 歯ブラシを用いた歯みがきに加えて行っている、歯と口の清掃はありますか（あてはまる番号すべてに○をつけてください）。

- 1 歯間清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使って、歯と歯の間を清掃している
2 舌を清掃している 3 行っていない

問28 むし歯予防のためにフッ化物（フッ素）を使用していますか（あてはまる番号すべてに○をつけてください）。

- 1 フッ化物入りの歯磨剤（いわゆるハミガキコ）を日常的に使用している
2 フッ化物入りの洗口液（マウスウォッシュ、オーラルリンス等）を日常的に使用している（学校や施設等で実施する場合も含む）
3 継続的に歯科医院でフッ化物の薬剤を歯の表面に塗った経験がある
4 使用していない、経験がない 5 わからない

令和3年度（前回）

問 37 アンケート調査の設問に関することについて、コロナ禍で控えられていることについて質問します。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

健診・検診の受診（問 17、問 18 関連）

《がん検診》

- 1 胃がん検診 2 大腸がん検診 3 肺がん検診
4 乳がん検診 5 子宮がん検診 6 前立腺がん検診

《歯の健診》

- 1 歯科健診 2 歯科治療

令和5年度（今回）

問 42 アンケート調査の設問に関することについて、コロナ禍で控えられていることについて質問します。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

がん検診、歯科健診・歯科治療の受診（問 17、問 18 関連）

《がん検診》

- 1 胃がん検診 2 大腸がん検診 3 肺がん検診
4 乳がん検診 5 子宮がん検診 6 前立腺がん検診

《歯の健診》

- 1 歯科健診 2 歯科治療